

コンピュータを使わない 「情報活用の実践力」理解の授業

大阪府立東百舌鳥高等学校

稲川 孝司 勝田 浩次

言語活動の充実に向けて

- 各教科・科目の指導に当たっては、生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る**学習活動を重視**するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の**言語活動を充実**すること。

(高等学校学習指導要領第1章総則)

協働学習の重要性

- 21世紀を生きる子どもたちに求められる力を育むためには、(中略)異なる背景や多様な能力を持つ子どもたちが**コミュニケーションを通じて協働して新たな価値を生み出す教育を行うことが重要になる。**

(教育の情報化ビジョン 第一章)

21世紀型スキル

(<http://www.21stcenturyskill.org>)

- 情報およびコミュニケーションスキル
情報・メディアリテラシー能力
コミュニケーション能力
- 思考および問題解決スキル
批判的な思考および体系的な思考
問題の識別、明確化、解決
- 対人関係および自己管理スキル
対人関係およびコラボレーションスキル
自己管理 責任感および順応性 社会的責任

社会人基礎力(経済産業省)

(3つの能力/12の要素)

前に踏み出す力(アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

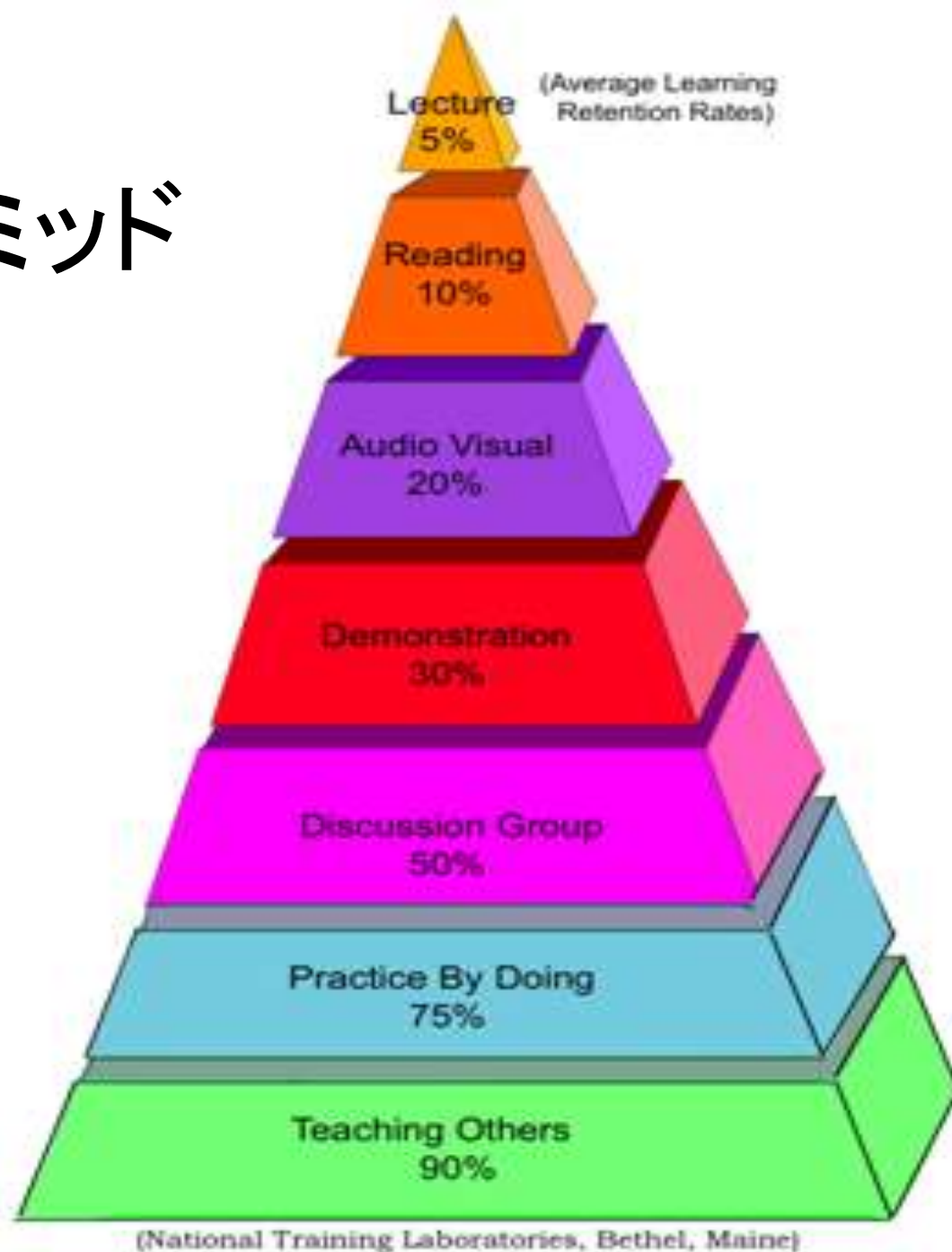
規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

学習ピラミッド



共通教科情報の目標

- 情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、
- 情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、
- 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、
- 社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

(高等学校学習指導要領 情報編)

情報活用能力

情報活用の実践力

情報の科学的な理解

情報社会に参画する態度

情報活用の実践力

- 必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

「社会と情報」の目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。（高等学校学習指導要領）

コンピュータを
使わずに実施

授業実践1

わたしたちのお店やさん

本時の学習：オリエンテーション

指導内容

- ・教科情報の目標を理解させる
- ・コンピュータ操作のみを扱う授業でないことを理解させる
- ・「情報活用の実践力」である情報の収集・処理・発信の全ての活動が情報の目標であることを理解させる

授業計画

- 導入：教科情報の目標の説明
- 展開1：情報教育の3観点と
21世紀型スキルの説明
- 展開2：グループワーク

授業形態

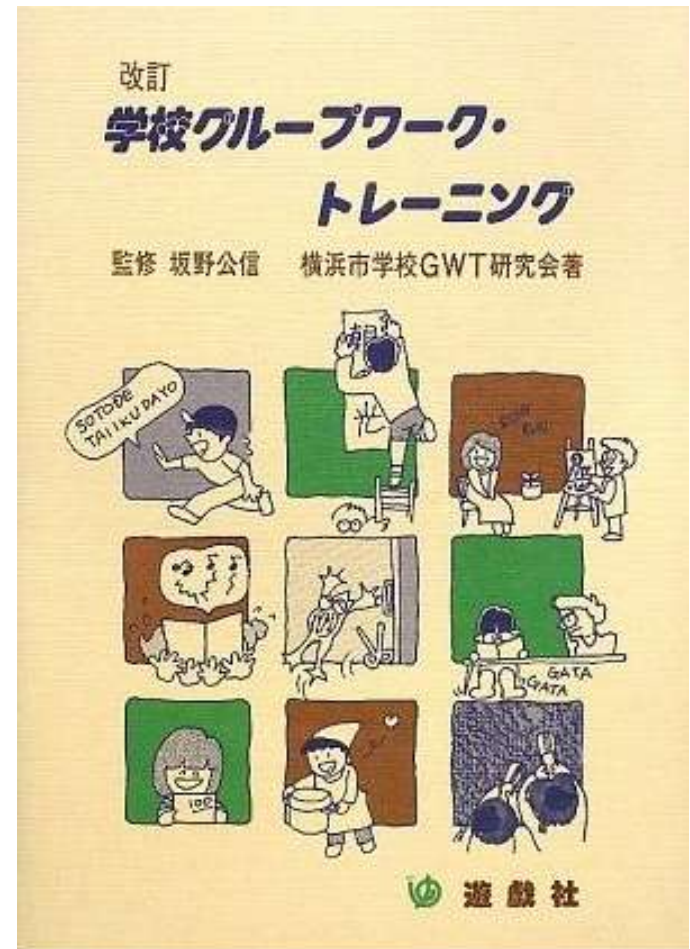
- 教室
- コンピュータを使わない
- 協働学習
- 言語活動(コミュニケーション力)

グループワーク 私たちの町

書名：改訂学校グループ
ワーク・トレーニング

横浜市学校GWT研究会

遊戯社



カードの内容例

- 花屋の前に病院があります
- 八百屋のとなりは花屋です
- 八百屋の前は本屋です
- 郵便局の両隣りは、肉屋と花屋です

カード枚数
20枚

手順

- 1. 机を寄せて6名のグループをつくる
- 2. 商店街の白地図を配り、課題を読み上げる
- 3. 情報カードをグループ内に均等に配布
- 4. カードは口頭で伝えるのみで、自分以外は見ることができない
- 5. 合図で一斉に始めて、自分の情報カードを読み、他人の話を聞いて、情報を整理する
- 6. 終わってから振り返りをする

生徒の感想

- ◆自分が気づいてないことも違う人が気づいて意見を言っていた
- ◆みんなで協力できた
- ◆内容をまとめたり図式化するとわかりやすかった
- ◆似ている答もあったので苦労した
- ◆まとめる能力のある人がわかった
- ◆伝えるのに工夫とかも意識した

振り返り

(次回はどんなことに気をつければよいか)

- ◆人の話をちゃんと最後まで聞く
- ◆みんなが口々に話すのではなく順番に言う
- ◆わかりやすく伝える
- ◆人の話を聞いて自分の情報を合わせて整理する
- ◆冷静に考え整理する
- ◆役割分担をしてスムーズに

授業実践2

水族館

グループワーク 水族館

書名：たのしい
グループワーク
大阪グループワーク研
究会

遊戯社

カード枚数
30枚



生徒の感想（完成したグループ）

- ◆メモを取りながら整理していったのでわかりやすく聞くことができた
- ◆それぞれが重要なことを先に言ったので聴きやすかった
- ◆全員でちゃんと聞いた
- ◆自分から情報の有無を聞くことができた

生徒の感想（未完成のグループ）

- ◆重要な情報を正しく伝えていなかった
- ◆どの情報を伝えたらよいかわからなかった
- ◆カードの内容が難しく伝えにくかった

振り返り

- ◆全員で意見を出して全員で考えることができた
- ◆情報を伝えるむずかしさを実感した
- ◆協力が大切だということがわかった
- ◆意見を言い合えたので正解できた
- ◆自分の情報がみんなの役に立ったのがうれしかった

教師の役割

ファシリテータとして支援する

- 進行上、何が問題か
- どうすればグループがうまくいくか

まとめ

- コンピュータを使わずに情報の収集、加工、発信する実習を行う



- 活動が、情報活用の実践力
体的に収集・判断・表現・処
況などを踏まえて発信・伝達
ことが理解できた

コミュニケーション
集合知



- 協働学習の形式で、言語活動の充実が実現できた